



平成26年度 事業報告

高齢者福祉施設事業報告

はじめに

平成26年度より高齢者福祉施設事業計画を策定し、各事業所が一体となり事業を推進しました。

各事業所は事業計画に沿って、法人内の高齢者福祉施設事業として連携を深め、事業を推進する上で定期的に相談し合い、情報を共有し、各事業所での事業計画を達成できるように高齢者福祉施設事業を全体で運営できるように進めてきました。

甲山地区では、にしのみや苑、甲寿園、越木岩、剣谷、鷲林寺町の各自治会長、地域連合防災会と西宮市、兵庫県行政担当者が協力し合い、甲寿園あいあいホールを会場として住民参加の六甲山東山麓土砂災害対策研修会を開催しました。地域の皆様からは、大雨・土砂災害時に近くで安心できる甲寿園を地域の避難所にしてほしい旨の要望が出され、西宮市、甲寿園、防災会と協議する中で、甲寿園あいあいホールを避難所となるよう地域協力を進めました。にしのみや苑ひまわりホールは、土砂災害指定地であり、住民避難所を設置することができず甲寿園と協力して受け入れることとなりました。

通所介護事業では、芦原デイサービスセンター、甲寿園、にしのみや苑の管理者、生活相談員の会議を開催し、利用目標に対しどのようにすすめるのか、その対策を出し合いました。各通所事業所利用者マップを作成することを確認しました。総合相談支援センターでは、子育て支援(あいあい広場)、認知症カフェの取り組みを自治会、民生委員・児童委員と協力し取り組みを進めてきました。居宅介護支援事業(深津・苦楽園・にしのみや苑・甲寿園)、地域包括支援センター(深津・甲山)においては、各事業間の円滑な連携を推進する会議を開催し、社会福祉士、看護師、主任介護支援専門員、介護支援専門員が問題を抱え込まず、情報を共有し合える環境、体制づくりを進めました。訪問介護事業は、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、高齢者施設との連携を進めました。

事業計画(共通する重点事業計画)

- 1) 特別養護老人ホームの利用率を安定させるために生活相談員が連携し入居計画を進めます。
- 2) 介護職員の資質の向上を目指し、介護実践の交流や研修会を開催します。
- 3) にしのみや苑の入居者、利用者の食事提供方法を甲寿園厨房で行えるように給食業務委託契約の見直しを行います。
- 4) 事務担当者の連絡を密にし、物品購入、契約等での合同を進め経費削減を進めます。
- 5) 甲山地区施設連絡協議会を毎月開催します。

⇒甲山地区施設連絡協議会を法人常務理事、事務局長、施設長、管理者が出席し、毎月開催しました。

出席者は各施設での利用状況、行事、職員状況を共有し合いました。

重点事業計画の1)・2)・3)・4)・5)については、連携し協議を進めてきました。

3)については、管理栄養士が連携し、献立の作成や食材購入については以前より共同して進めてきました。平成26年度はさらに連携が円滑に進みました。にしのみや苑、甲寿園の給食業務委託契約についても見直しを行いました。給食調理を甲寿園厨房で行うことについては、甲寿園厨房の規模、衛生面から検討した結果、食事提供方法は、現状のままとなりました。



平成26年度 事業報告

甲寿園

はじめに

事業方針説明を全職員対象に4月1日より3日間行いました。また、入居者の家族に対しても4月12日、13日、事業計画説明と昼食会を行いました。4月より事業目標を達成するために入居計画委員会を中心にデイサービス、ショートステイ、特養ホームの生活相談員が連携を強めました。在宅支援では、地域の民生委員・児童委員、自治会の皆様の協力で第2回春フェスタを開催しました。自治会等の防災会議を甲寿園で開催し、あいあいホールを住民の一時避難先となるよう要望が出され、西宮市と地域連合防災会、施設側の協議を行い、「鷺林寺・剣谷・柏堂地区地域防災マップ」が完成し、地域住民の避難所指定に協力致しました。念願であった北館3階トイレ・デイルームの改修工事を行いました。

1. 事業計画

1) 特別養護老人ホーム入居者の円滑な受け入れを行います

(ア) 特別養護老人ホーム(定員168名)の入居者は、年間を通じて平均166名(利用率98.8%)を目標とします。入居計画委員会を毎月開催し入居予定を決定します。

利用状況 入居計画委員会開催 15回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用数	166.5	166.0	165.0	164.1	162.4	163.1	165.6	166.8	163.6	162.8	160.1	164.7	164.2
利用率	99.1	98.8	98.2	97.7	96.6	97.1	98.6	99.3	97.4	96.9	95.3	98.8	97.8

(前年度 163.2名 97.4%)

利用者の介護度の状況

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
実人数	8	28	58	42	30	166
割合%	4.8	16.9	35.0	25.3	18.0	100

待機者の状況

男性	202 (229)	女性	341 (386)	合計	543 (615)
----	-----------	----	-----------	----	-----------

(前年度人数)

⇒4月より、生活相談員が育児休職より復帰し、3名の相談員体制と特養ケアマネジャー専任が2名となりました。4月～5月の入居状況は、利用率98.8%の目標通りに入所計画は進みましたが、8月は入院退所件数が短期間に集中したため、入所計画が追い付きませんでした。

待機者の状況を正確に把握し、常に入所者を確保できるように改善しました。

1月～2月にかけて職員、入居者がインフルエンザA型に感染し、新入居を控えました。

(イ) 介護職員を適切配置し、ゆつたりと寄り添う援助を行います。

(ウ) 園内での異動を行う事により、フロアの活性化を図ります。異動時期については、4月～6月、10月に行い、援助サービスに混乱が生じないようにします。

(エ) 職員の健康と入居者の安全を守るために介護リフトを有効に活用します。

(オ) より良い介護を実現するために職員が意見を述べ、実践できるチームケアを確立します。

(カ) 兵庫県第三者評価事業および兵庫県老人福祉事業協会サービス評価事業受審結果を踏まえサービス評価委員会を毎月開催し、介護サービス向上をさらにめざします。

⇒介護職員の適時配置は、副園長2名が中心的に随時に募集を行いました。地域を限定しての職員募集の全戸配布、介護職員派遣会社、ハローワーク等と日々、介護職員を安定させるための対策を講じました。人事異動は、役職者の異動を4月に実施し、一般介護職員の異動を6月に行い、介護の安定を図りました。また、職員の腰痛予防のためにリハビリテーション室作業療法士が中心となり、援助員に対し介護リフトやスライディングシートの活用を進めました。

2) 市民、利用者から信頼される在宅支援事業を行います

(ア) 居宅介護支援介護支援専門員 1 名を配置し、要介護 35 件、介護予防 8 件の受託を行います。

ケアプラン件数を増やし、適切な時期に 2 名体制を確立します。

将来計画として 3 名の居宅介護支援事業所(特定事業所加算)をめざします。

利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン数	33	36	37	35	36	33	33	35	35	33	34	33	413
予防プラン数	1	2	2	2	3	3	3	3	2	3	4	4	32
ケアマネ人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

⇒昨年度の下半期に産休のため 2 名体制を 1 名としました。

居宅介護支援の受託件数は、前年度 2 名体制で 239 件となっていました。今年度は 1 名でケアプラン件数 413 件、予防プラン件数 32 件と前年度を大幅に上回りました。

(イ) 短期入所生活介護(ショートステイ・定員 14 名)利用率 130%を目標にします。

平均 120%を維持できるように特別養護老人ホームの空床を利用し利用者を増やします。

介護者の病気や虐待などに対し緊急ショートステイを積極的に受け入れます。

在宅での暮らしを支援するために、利用者とその家族の気持ちを尊重した受入れ相談を行います。

生活相談員は、適切な時期に専任配置します。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1 日平均	17.9	16.8	17.2	17.53	17.7	17.4	16.1	15.8	16.7	15.6	11.4	16.6	16.4
利用率	127.9	119.8	123.1	124.7	126.5	124.3	116.0	113.0	119.5	111.9	81.6	118.6	117.2

(前年度 15.9 名 113.8%)

緊急ショート利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	4	1	3	4	0	2	2	2	2	3	2	3	28
緊急受入件数	3	0	3	1	0	1	1	2	2	3	1	2	19

⇒特養ホーム生活相談員、デイサービス生活相談員と連携し、利用状況を調整しました。

特養ホームの空床利用を活用しつつ、短期入所は、117%の利用となりました。ショートステイ生活相談員は在宅での生活支援のために短期利用の利用者や家族との連携を深めました。

(ウ) 通所介護(デイサービス・定員 28 名)利用は、1 日 25 名(90%)を目標とし、平均 85%の利用率を維持します。通所介護サービスを希望する在宅高齢者の要望に速やかに応える体制を整え、個々のケアプランに沿った援助を行い、居心地の良い環境を整備します。

作業療法士を配置しリハビリテーションを充実させます。目標を達成するために管理者、生活相談員、役職者が居宅介護支援事業所、地域住民に宣伝(チラシ、デイ便り)を行います。

特養配置の理学療法士、作業療法士と連携し、レクリエーション、機能訓練を充実させ、デイサービスに来て楽しく、充実した時間を過ごして頂けるようにします。

デイサービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	25.7
平均利用者	23.0	22.6	24.2	24.5	24.3	24.7	25.5	25.5	24	23.7	25	24.2	24.2
利用率	82.0	80.8	86.4	87.4	87.0	88.2	91.1	91.1	85.7	89.4	86.5	86.7	86.8
介護予防	162	170	165	182	181	201	207	186	172	154	152	142	172.8

(前年度 23.8 名 85.1%)

⇒目標を達成するために、甲寿園デイサービスセンターのパンフレットを新たに作成し、市内にある居宅介護支援事業所を訪問し、ケアマネジャーに直接説明しました。

目標は 1 日 25 名、90%の利用率でしたが、85%を年間を通して維持できました。

デイサービス生活相談員とショートステイ生活相談員が連携し、市内居宅介護支援事業所を訪問し、利用を依頼しました。

3) 研修を充実させ、質の高い職員を育成します

- (ア) 職員研修は、年間計画に沿って実施します。年間計画は、研修委員会が作成します。
前兵庫県介護福祉士会会長（介護共育研究会）とスーパーバイザー契約を行い、認知症ケアの充実、介護の質の向上を計画的に進めます。新任研修、中堅研修、役職者研修を行います。
- (イ) 職員は、社会性と専門性を高めるため自己研修制度を活用し研鑽に努めます。
また、必要な資格を取得、自らのキャリア・アップに努めます。
(介護職員初任者研修・介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門・社会福祉主事・認知症ケア専門士・簿記他)
- (ウ) 海外の福祉を学ぶ機会として、他団体主催の海外研修視察への申込みを積極的に行います。
- (エ) 3年、5年、10年目の職員に対し、リーダー養成を行います。
- (オ) 言葉づかいと接遇マナーは、高齢者に対する尊厳を守る基本であり、日々、お互いに点検し合える環境をつくります。「日本語検定試験」を1～3年の職員を対象に研修として受検します。

職員研修

	回数 (前年度)	参加数 (前年度)
園内研修	21 (10)	297 (176)
外部研修	52 (28)	41 (52)
自己研修	3回	3名

実習生受け入れ状況

介護福祉士	初任者研修	社会福祉士	介護等体験	栄養士	トライやる	薬剤師	合計
11 (8)	13 (7)	3 (2)	29 (14)	1 (2)	7 (7)	16 (16)	80 (56)

(前年度)

- ⇒全職員対象の事業説明会を時間外で3回開催しました。
- 認知症サポーター養成研修会をあいあいホールで開催し、100名以上の職員が受講しました。
- スーパーバイザーの講師による役職者研修として看取りについて月1回の研修会を行いました。
- 介護福祉士国家試験に2名、社会福祉士国家試験に1名合格しました。
- 介護職員初任者研修は、2名受講終了しました。
- 今年度の介護職員における介護福祉士の特養ホームでの比率は70.8%となりました。

4) 介護課

- (ア) 役職職員を中心に丁寧で優しい、質の高い介護の提供を行います。
- (イ) 係長会議を定期的に開催します。
⇒抱えない介護を実践するために天井走行リフトの活用、スライディングシートの購入を進めました。
業務連絡会議(月1回)の日に係長会議を開催しました。
介護困難事例発生時等には情報共有のため臨時係長会議を開催しました。

5) 看護課

- (ア) 看護課を確立し、入居者が安心して暮らすことができる健康・衛生管理を充実させます。
- (イ) 看護職員を雇用し、安定した看護体制を確保します。役職体制を確立する準備を進めます。
⇒課長を中心に入居者の健康・衛生管理を行い、感染症予防研修と手指の洗浄実技等を全職員が実施しました。また、それぞれの場面での専門的な研修を進めました。
看護課は、他施設への見学、ターミナルケア研修、日々のカンファレンス等、定期的に研鑽を深めました。

6) 栄養室

- (ア) 看護課を確立し、入居者が安心して暮らすことができる健康・衛生管理を充実させます。
- (イ) 看護職員を雇用し、安定した看護体制を確保します。役職体制を確立する準備を進めます。

⇒課長を中心に入居者の健康・衛生管理を行い、感染症予防研修と手指の洗浄実技等を全職員が実施しました。また、それぞれの場面での専門的な研修を進めました。

看護課は、他施設への見学、ターミナルケア研修、日々のカンファレンス等、定期的に研鑽を深めました。

6) 栄養室

(ア) ソフト食、バイキング食や選択食、行事食など、季節感のある美味しい食事を提供します。

(イ) 食事委員会を隔月に開催します。

(ウ) 食器の定期的な購入を計画的に行います。

⇒食事委員が中心になり、行事食、選択食、また、日々の食事について意見を出し合い、季節感のある美味しい食事提供や、寿司お楽しみデーの企画・毎月のお誕生会の際にシェフ手作りのケーキを楽しんでいただきました。調理師の交代があり、給食委託会社に対し、食事の質を落とさない調理師配置を求めました。食器については、管理栄養士、食事委員、役職者が中心となり選定しました。

7) 生活相談室

(ア) 特別養護老人ホームの入居待機者に対し、面接を円滑に進めます。

(イ) 生活相談室(生活相談員3名、ケアマネジャー2名、通院介助補助員1名)を充実します。

(ウ) 入居待機者情報を適正に整備し、待機者に「甲寿園だより」などの情報を提供します。

(エ) 特別養護老人ホーム入居者の家族懇談会を行います。

⇒生活相談員3名、特養ケアマネジャー2名、通院介助補助員1名を配置し、定期及び随時に入所計画委員会を開催し、入居管理を行いました。

甲寿園便り委員会を開催し、甲寿園便りを毎月発行しました。

家族懇談会を4月12日(土)13日(日)に開催し、事業計画、各フロアの様子を報告し、昼食会を実施し家族との交流を行いました。

8) リハビリテーション室

(ア) 作業療法士、理学療法士とリハビリテーション委員が中心となり、入居者の生活リハビリテーション、作業療法の充実を図ります。

(イ) 作業療法士養成学校の実習生を受け入れます。

⇒リハビリテーション室では、リフト活用の徹底を介護職員に研修を進め、他施設の作業療法士、理学療法士との交流を深めました。作業療法士養成の実習生についても受け入れを行いました。

9) 設備用務室

(ア) 職員間の連携を強め、設備、環境面での業務を円滑に進めます。

(イ) 運転業務を安全に行えるよう安全運転教育を進めます。

(ウ) 設備、介護備品、車両の点検を行い、安全に使用できるようにします。

⇒設備用務室は、甲寿園のみではなく、甲山地区全体の環境管理を行いました。

10) 事務室

(ア) 職員間の連携を強め、勤怠、請求、経理などの事務業務を円滑に進めます。

(イ) 来客者、家族、利用者、入居者に対し、心地よい接遇マナーを重視します。

(ウ) 事務室を整理整頓し、個人情報の管理を適正に行います。

⇒事務室は、甲寿園の玄関にあり、書類等の整理整頓、生け花等の配置を行い、接客マナーについて常に心がけてきました。

11) にしのみや苑との連携を深めます

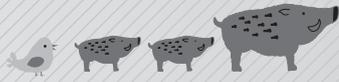
- (ア) 定期的に管理者合同会議を行い、高齢者介護事業の連携を図ります。
- (イ) 職員研修、交換研修を合同で行います。
- (ウ) 各部署間の連携を進めます。
- (エ) にしのみや苑との合同調理を行います。甲寿園厨房で調理し、にしのみや苑厨房において配膳することができるように給食業務委託会社に対し、業務委託の見直しを行います。
⇒(ア)(イ)(ウ)については、日常的に施設管理者、各担当の連携を強め、研修、会議を実施致しました。
(エ) 管理栄養士の施設間連携として、共通の献立と食材等の購入を実施しました。
合同調理について甲寿園厨房で調理することを方針としましたが、西宮市保健所から調理数と甲寿園厨房下処理室のスペースが狭く、現状では合同調理はできないという結論になりました。

12) 社会貢献、地域連携、情報公開、ボランティア支援を行います

- (ア) 地域交流スペースを市民に活用して頂けるようにします。
六甲東山麓にある自治会と防災協力し自治会の皆様に活用して頂きます。
⇒地域支援、交流を目的にした「第2回春フェスタ」(5月16日)は、自治会、民生委員・児童委員の協力を頂き、にしのみや苑との合同開催となりました。
- (イ) 福祉避難所としての役割を地域住民に周知していきます。
⇒六甲東山麓の土砂災害対策として、甲寿園あいあいホールに住民が一時避難できるように西宮市防災危機管理局、鷲林寺・剣谷・柏堂地域連合防災会、甲寿園を中心に協議し、「地域防災マップ」が完成し、甲寿園が地域住民の避難所として協力することになりました。
- (ウ) ボランティア活動に多くの市民に協力して頂けるようにします。また、ボランティアの養成を行います。
ボランティア感謝の集いは、「歓びの会」(敬老会)に開催します。
⇒平成26年9月15日敬老の日、甲寿園歓びの会を開催し、ボランティアをご招待し、感謝の集いを行いました。
- (エ) 市民への介護技術、認知症ケア等の公開講習会を企画します。
⇒5月16日春フェスタの企画の中で、ボランティア、見学、相談等の企画を行いました。
- (オ) ホームページと甲寿園公式フェイスブックをさらに充実させます。
また、「甲寿園だより」を毎月発行し、「事業報告集」を発行します。
⇒ホームページ、甲寿園公式フェイスブックの更新を日々、行いました。

13) 備品、設備、環境整備を行います

- (ア) 北館3階の改修工事(トイレ・汚物処理室・デイルーム等)を行います。
⇒北館3階トイレ等の改修工事は、1月31日竣工し、使い勝手の良いトイレ、デイルームとなりました。
- (イ) 介護・リハビリテーションに必要な備品、医療用機器を購入します。
⇒低床ベッドは、フランスベッド(株)より12台購入しました。
- (ウ) 特養ホーム浴室(特殊浴槽)の改修準備を行います。
⇒南館3階の特殊浴槽が故障し修理が出来ないため、アビリティーズ・ケアネット(株)でアルジヨ社製特殊浴槽を購入、設置しました。
- (エ) 会議室、応接室のテーブル等の更新を行います。
⇒延期しました。
- (オ) 節電対策(LED照明への転換等)を行います。
⇒南館2階・3階の居室入口、南館1階廊下、あいあいホール、デイサービスセンター、事務室、相談室、玄関の蛍光灯、ダウンライトをLED照明に転換しました。



決算報告

平成 26 年度貸借対照表

単位：円

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	340,263,765	流動負債	65,504,353
現金預金	202,943,718	事業未払金	24,137,255
現金	57,325	1年以内返済予定設備資金借入金	10,000,000
預金	202,886,393	未払費用	4,128,098
事業未収金	135,805,479	預り金	0
未収金	41,309	仮受金	0
立替金	0	賞与引当金	27,239,000
前払費用	20,000	固定負債	60,000,000
仮払金	1,453,259	設備資金借入金	60,000,000
		負債の部合計	125,504,353
固定資産	1,604,392,124	純資産の部	
基本財産	970,697,646	基本金	497,712,196
建物	970,697,646	国庫補助金等特別積立金	697,391,602
その他の固定資産	633,694,478	その他の積立金	334,333,000
建物付属設備	255,234,213	人件費積立金	131,873,000
構築物	6,492,508	修繕積立金	186,860,000
車輛運搬具	189,537	備品等購入積立金	15,600,000
器具及び備品	37,291,492	次期繰越活動増減差額	289,714,738
ソフトウェア	133,728	次期繰越活動増減差額	289,714,738
人件費積立資産	131,873,000	(うち当期活動増減差額)	2,080,830
修繕積立資産	186,860,000	純資産の部合計	1,819,151,536
備品等購入積立資産	15,600,000		
保証金	20,000		
資産の部合計	1,944,655,889	負債及び純資産の部合計	1,944,655,889

平成 26 年度事業活動計算書

単位：円

勘定科目		当年度決算
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益 854,675,363
		その他の事業収益 210,000
		経常経費寄附金収益 656,650
		サービス活動収益計(1) 855,542,013
	費用	人件費 554,123,367
		事業費 152,195,393
		事務費 76,291,194
		利用者負担軽減額 1,314,496
		減価償却費 113,445,220
		国庫補助金等特別積立金取崩額 △ 70,010,953
	サービス活動費用計(2) 827,358,717	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) 28,183,296	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益 149,343
		受取利息配当金収益 77,797
		その他のサービス活動外収益 5,729,604
		サービス活動外収益計(4) 5,956,744
	費用	支払利息 199,125
		その他のサービス活動外費用 4,942,971
		サービス活動外費用計(5) 5,142,096
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) 814,648
		経常増減差額(7)=(3)+(6) 28,997,944
	特別増減の部	収益
		特別収益計(8) 7,939,992
費用		固定資産売却損・処分損 117,114
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除去等) 0
		国庫補助金等特別積立金積立額 7,939,992
		拠点区分間繰入金費用 26,800,000
	特別費用計(9) 34,857,106	
	特別増減差額(10)=(8)-(9) △ 26,917,114	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10) 2,080,830	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12) 307,193,908	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) 309,274,738	
	基本金取崩額(14) 0	
	その他の積立金取崩額(15) 28,440,000	
	その他の積立金積立額(16) 48,000,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) 289,714,738	



予 算 概 要

平成 27 年度資金収支予算書

単位：円

勘 定 科 目		予算額	
事業活動による収支	収 入	介護保険事業収入	858,675,000
		老人福祉事業収入	0
		その他の事業収入	120,000
		借入金利息補助金収入	129,000
		経常経費寄附金収入	1,000,000
		受取利息配当金収入	59,000
		その他の収入	5,120,000
		流動資産評価益等による資金増加額	0
	事業活動収入計 (1)	865,103,000	
	支 出	人件費支出	600,454,000
		事業費支出	150,575,000
		事務費支出	81,536,000
		利用者負担軽減額	1,332,000
		支払利息支出	172,000
その他の支出		5,070,000	
流動資産評価損等による資金減少額		0	
事業活動支出計 (2)	839,139,000		
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	25,964,000		
施設整備等による収支	収 入	施設整備等補助金収入	7,500,000
		施設整備等寄附金収入	0
		設備資金借入金収入	0
		固定資産売却収入	0
		その他の施設整備等による収入	0
	施設整備等収入計 (4)	7,500,000	
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	10,000,000
		固定資産取得支出	98,500,000
		固定資産除却・廃棄支出	0
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0
その他の施設整備等による支出		0	
施設整備等支出計 (5)	108,500,000		
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 101,000,000		
その他の活動による収支	収 入	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0
		長期運営資金借入金収入	0
		長期貸付金回収収入	0
		積立資産取崩収入	108,500,000
		サービス区分間長期借入金収入	0
		拠点区分間長期貸付金回収収入	0
		サービス区分間長期貸付金回収収入	0
		事業区分間繰入金収入	0
		拠点区分間繰入金収入	500,000
		サービス区分間繰入金収入	250,000
		その他の活動による収入	0
	その他の活動収入計 (7)	109,250,000	
	支 出	長期運営資金借入金元金償還支出	0
		長期貸付金支出	0
		積立資産支出	0
		拠点区分間長期貸付金支出	0
		拠点区分間長期借入金返済支出	0
		拠点区分間繰入金支出	26,800,000
サービス区分間繰入金支出		250,000	
その他の活動による支出	0		
その他の活動支出計 (8)	27,050,000		
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	82,200,000		
予備費支出 (10)	0		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,164,000		



年齢状況

平成27年3月31日現在

以上 未満	60 ~60	65 ~65	70 ~70	75 ~75	80 ~80	85 ~85	90 ~90	95 ~95	100 ~100	105 ~105	115 ~115	計
男	0	1	1	2	6	3	4	3	2	0	0	22
女	0	1	1	8	7	27	40	34	23	3	0	144
合計	0	2	2	10	13	30	44	37	25	3	0	166

年齢

	最高	最少	平均
男	95	61	82.3
女	102	60	87.6
			86.9

在所期間状況

平成27年3月31日現在

以上 未満	0 ~1	1 ~2	2 ~3	3 ~4	4 ~5	5 ~6	6 ~7	7 ~8	8 ~9	9 ~10	10 ~11	11 ~12	12 ~13	13 ~14	14 ~15	15 ~99	計
男	9	6	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	22
女	36	25	28	15	7	7	11	3	0	2	1	0	0	1	0	8	144
合計	45	31	28	16	9	9	11	4	0	2	1	0	0	1	0	9	166

在所期間

	最高(年)	最少(年)	平均(年)
男	17	0.1	2.4
女	22	0.1	3.2
			3.1

障がい高齢者の日常生活自立度

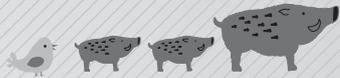
平成27年3月31日現在

区分	正常	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
実数(人)	0	0	3	16	49	39	38	10	11
割合(%)	0	0	2	10	29	23	23	6	7

認知症高齢者の日常生活自立度

平成27年3月31日現在

区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
実数(人)	0	3	15	33	70	22	17	6
割合(%)	0	2	9	20	42	13	10	4



甲寿園歳時記

平成26年 4月

日付	予 定
1日	火 辞令公布 新任研修 事業方針説明
2日	水 辞令公布 新任研修 事業方針説明
3日	木 北3会議 事業方針説明
4日	金 新人歓迎合せ(川田・小田・藤田・高田・木村)3:30~ 春フェス
5日	土
6日	日
7日	月
8日	火 廣田の杜コーラス スーパーバイズ研修 (10:00~新任 13:30~役職サービス向上委員会)
9日	水 タンテ・ジラソーレ (1:45)
10日	木 口腔ケアミニ研修 (南3・北3)
11日	金
12日	土 家族懇談会 (11:00~13:00)
13日	日 家族懇談会 (11:00~13:00)
14日	月
15日	火 春フェス会議
16日	水 口腔ケア委員会
17日	木 会話ボランティア 北2会議 南3会議
18日	金 南2会議
19日	土
20日	日
21日	月
22日	火 合同管理者会議 安全衛生委員会 春フェス会議
23日	水
24日	木
25日	金 業務連絡会議 新人歓迎会【山地区合同】
26日	土
27日	日
28日	月
29日	火
30日	水

平成26年 5月

日付	予 定
1日	木 北3会議
2日	金 市民見学会 (9:30~)
3日	土
4日	日
5日	月
6日	火 身体拘束廃止委員会
7日	水
8日	木 北2会議
9日	金 南2会議
10日	土
11日	日
12日	月 ケアプラン会議
13日	火 職員旅行委員会
14日	水 パソコン委員会
15日	木 南3会議 口腔ケアミニ研修 3:30~
16日	金 春フェスタ
17日	土 Nティーズ (バンド演奏) 来園2:00~ホール
18日	日
19日	月
20日	火
21日	水 排泄委員会 法人理事会
22日	木 園内研修 研修委員会
23日	金 業務連絡会議 感染対策委員会
24日	土
25日	日
26日	月 リハビリ会議
27日	火 リスクマネジメント委員会
28日	水 甲寿園便り委員会
29日	木
30日	金
31日	土

平成26年 6月

日付	予 定
1日	日
2日	月
3日	火 サービス向上委員会
4日	水 ①盆踊り委員会
5日	木 北3会議 甲子園短大実習開始
6日	金 経協
7日	土
8日	日
9日	月
10日	火 防災委員会
11日	水 北2会議
12日	木 南2会議
13日	金 マイナビ見学会 (1:45~)
14日	土 防災委員会
15日	日
16日	月
17日	火 経協
18日	水 口腔ケア委員会
19日	木 南3会議 宮水学園来園【踊り・民謡】 会話ボラ
20日	金 甲子園短大最終カンファレンス 夙川学院オリエンテーション あいケア夙川歌ボラ
21日	土 ソロプチミスト来園
22日	日
23日	月 リハビリ委員会 法人初任者研修部会
24日	火 安全衛生委員会 合同会議
25日	水 甲寿園だより委員会 ②盆踊り委員会 栄養士部会 法人研修委員会
26日	木
27日	金 業務連絡会議 食事委員会
28日	土
29日	日
30日	月

平成26年 7月

日付	予 定
1日	火 身体拘束廃止委員会
2日	水 盆踊り委員会②
3日	木 北3会議・精神科往診 pm
4日	金 経協
5日	土 音楽の催し (2:00~)
6日	日
7日	月 歓びの会委員会①皮膚科往診 Pm
8日	火 廣田の杜コーラス スーパーバイズ研修
9日	水 パソコン委員会・泌尿器科往診 pm
10日	木 北2会議
11日	金 南2会議
12日	土
13日	日
14日	月
15日	火 経協
16日	水 排泄委員会・耳鼻科往診 9:30~
17日	木 南3会議・精神科往診 pm
18日	金
19日	土
20日	日
21日	月
22日	火 リスクマネジメント委員会
23日	水 甲寿園便り委員会 歓びの会委員会②泌尿器科往診 pm
24日	木 園内研修
25日	金 業務連絡会議・感染委員会 15時~
26日	土 安全衛生委員会
27日	日
28日	月 盆踊り委員会④ リハビリ会議
29日	火
30日	水
31日	木 精神科往診 pm

平成26年 8月

日付	予 定
1日	金 経協 (ず)
2日	土 盆踊り準備
3日	日 盆踊り
4日	月 皮膚科往診
5日	火 サービス向上委員会
6日	水 泌尿器科往診
7日	木 北3会議
8日	金 南2会議
9日	土 北山学園ホール使用 (10:00~1:00)
10日	日
11日	月 ③歓びの会委員会
12日	火 防災委員会
13日	水 北2会議 精神科往診
14日	木
15日	金
16日	土
17日	日
18日	月
19日	火 スーパーバイズ研修 3:00~会議室 経協 (に)
20日	水 口腔ケア委員会 泌尿器科往診
21日	木 南3会議
22日	金 盆供養 (10:00 会場:にしのみや苑)
23日	土 自治会防災会議【ホール使用】
24日	日
25日	月 リハビリ委員会
26日	火 安全衛生委員会
27日	水 さくら悦子さん歌謡ショー 甲寿園便り委員会 ④歓びの会委員会
28日	木 精神科往診
29日	金 業務連絡会議・食事委員会
30日	土
31日	日

平成26年 9月

日付	予 定
1日	月 ケアプラン委員会 ⑤歓びの会委員会
2日	火 身体拘束廃止委員会
3日	水 風のコンサート 泌尿器科往診
4日	木 夙川幼稚園訪問 (10:00~12:00) 北3会議
5日	金 経協
6日	土
7日	日
8日	月
9日	火 スーパーバイズ研修
10日	水 耳鼻科往診
11日	木 北2会議 後援会総会
12日	金 南2会議
13日	土
14日	日
15日	月 歓びの会
16日	火 日本福祉大合宿実習開始 経協
17日	水 泌尿器科往診 排泄委員会 理事会
18日	木 南3会議 口腔ケアミニ研修
19日	金
20日	土 ガールスカウト来園 (ディサービス)
21日	日
22日	月 リハビリ会議
23日	火 リスクマネジメント委員会
24日	水 おしなさんと歌おう (1:30~)
25日	木 精神科往診 後援会総会 園内研修発表会 研修委員会
26日	金 業務連絡会議 感染対策委員会
27日	土
28日	日
29日	月
30日	火 合同管理者会議



平成26年 10月



日付	予 定
1日	水 泌尿器科往診 シルバーコーストケアマネ見学
2日	木 北3会議
3日	金
4日	土
5日	日
6日	月 皮膚科往診
7日	火 経協 サービス向上委員会
8日	水 防火委員会 にしのみや苑合同夜間想定防火訓練
9日	木 精神科往診 北2会議
10日	金 南2会議
11日	土
12日	日
13日	月
14日	火 グループ・ユーマ訪問演奏 スーパーバイズ研修 (10:00~11:30) 入居検討委員会
15日	水 泌尿器科往診 口腔ケア委員会 職員旅行【吉本新喜劇】
16日	木 南3会議 花こま来園 カウンセリング協会
17日	金 エルホーム戸見見学
18日	土
19日	日
20日	月
21日	火 経協
22日	水 甲寿園便り委員会
23日	木 精神科往診 西宮北高校訪問実習(デイ) 恵泉 介護実習【3名】
24日	金 業務連絡会・栄養委員会 法人ファオローアップ研修(船本・東山・北野・岡本)
25日	土
26日	日
27日	月 リハビリ委員会 甲子園短期大学実習開始【4フロア配属】
28日	火 安全衛生委員会 法人合同研修(13時~15時すなご)
29日	水 泌尿器科往診
30日	木 老福連パワーポイント締切
31日	金

平成26年 11月



日付	予 定
1日	土 長田太鼓【ホール】
2日	日
3日	月 ケアプラン委員会
4日	火 身体拘束廃止委員会
5日	水 セントポーリア 実習
6日	木 北3会議 精神科往診
7日	金 福祉避難所協定式(2:00アミティーホール) 経協 ①新春の集い委員会 北山ホール使用
8日	土
9日	日 お誕生日会
10日	月
11日	火 さんずい園実習
12日	水 パソコン委員会 泌尿器科往診 甲子園短大中間カンファランテ・ジラソーレ さんずい園実習
13日	木 北2会議
14日	金 南2会議
15日	土
16日	日 法人合同実践研究発表会(甲寿園ホール)
17日	月
18日	火 市長永年表彰(阪下・川崎・柳田)13時30分 経協
19日	水 排泄委員会 耳鼻科往診
20日	木 南3会議 会話ボラ 精神科往診
21日	金
22日	土
23日	日
24日	月 リハビリ委員会
25日	火 リスクマネジメント委員会
26日	水 甲寿園だより委員会 泌尿器科往診
27日	木 研修委員会 後援会見学
28日	金 業務連絡会議 感染対策委員会 ②新春の集い委員会 廣田地区民協見学
29日	土
30日	日 ベリーグダンス来園

平成26年 12月



日付	予 定
1日	月 実習指導委員会(3:30~)
2日	火 サービス向上委員会
3日	水 甲寿園・にしのみや苑合同クリスマスコンサート 年末年始委員会【餅つき・初詣】
4日	木 北3会議
5日	金 理事会
6日	土
7日	日
8日	月
9日	火 スーパーバイズ研修
10日	水
11日	木 北2会議
12日	金 栄光教会来園 クリスマス会(あいあいホール)
13日	土 老福連実践研修発表会
14日	日 老福連実践研修発表会 ボーイスカウトボランティア(南2・南3・北2)
15日	月 老福連実践研修発表会 ③新春の集い委員会
16日	火
17日	水 認知症サポーター研修(17:30~) 口腔ケア委員会
18日	木 南3会議 特殊検診
19日	金 餅つき準備 特殊検診
20日	土 年越し餅つき
21日	日
22日	月 リハビリ委員会
23日	火 安全衛生委員会
24日	水 甲寿園便り委員会
25日	木
26日	金 業務連絡会議 食事委員会
27日	土
28日	日
29日	月
30日	火
31日	水

平成27年 1月



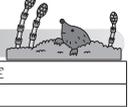
日付	予 定
1日	木 元旦 初詣
2日	金 初詣
3日	土 初詣
4日	日
5日	月 散髪ボラ ケアプラン委員会
6日	火 新春の集い準備
7日	水 新春の集い 泌尿器科往診
8日	木 北2会議 北3会議
9日	金 経協
10日	土
11日	日
12日	月
13日	火 廣田の杜コーラス スーパーバイズ研修 身体拘束廃止委員会
14日	水 防火委員会
15日	木 南3会議 口腔ケアミニ研修 精神科往診 職員旅行 特診
16日	金 合同管理者会議 法人役職研修 特診
17日	土
18日	日
19日	月
20日	火 経協
21日	水 初釜 排泄委員会 泌尿器科往診
22日	木 園内研修 研修委員会
23日	金 業務連絡会議 感染対策委員会
24日	土 看護師飯神ブロック会 音楽療法打ち合わせ
25日	日
26日	月 リハビリ会議
27日	火 リスクマネジメント委員会
28日	水 甲寿園便り委員会 法人研修委員会
29日	木
30日	金
31日	土

平成27年 2月



日付	予 定
1日	日
2日	月
3日	火 サービス向上委員会
4日	水 法人苦情打ち合わせ会議 耳鼻科往診
5日	木 北3会議
6日	金 経協(すなご)
7日	土
8日	日
9日	月 理事会
10日	火 スーパーバイズ研修 入居計画委員会
11日	水
12日	木 北2会議 法人役職研修
13日	金 南2会議
14日	土
15日	日
16日	月
17日	火
18日	水 口腔ケア委員会
19日	木 南3会議 加齢ケア協会(会話4'ら)
20日	金 園内研修「音楽療法土津先生」
21日	土
22日	日
23日	月 リハビリ会議
24日	火 安全衛生委員会
25日	水 甲寿園便り委員会
26日	木
27日	金 業務連絡会議 食事委員会
28日	土

平成27年 3月



日付	予 定
1日	日
2日	月 ケアプラン委員会
3日	火 あいあい喫茶(コロナシエン コーラス) 身体拘束廃止委員会
4日	水 薬学学生実習3/3~3/6
5日	木 北3会議 あいあいケア夙川(歌ボランティア2:00)
6日	金
7日	土
8日	日
9日	月 原田美香さんバイオリン(2:00~)
10日	火 スーパーバイズ研修(9:45~11:30)
11日	水 パソコン委員会
12日	木 北2会議
13日	金 南2会議
14日	土
15日	日
16日	月
17日	火 安全衛生委員会
18日	水 排泄委員会
19日	木 南3会議
20日	金 理事会
21日	土
22日	日
23日	月 リハビリ会議 法人新任研修
24日	火 リスクマネジメント委員会 法人新任研修
25日	水 甲寿園便り委員会 法人新任研修
26日	木 研修委員会 法人新任研修(甲寿園)
27日	金 業務連絡会議 感染対策委員会 法人新任研修
28日	土 園田学園吹奏楽部演奏会(2:00~あいあいホール)
29日	日
30日	月
31日	火